

人権作文コンテスト全国大会で入選

荒牧真綺さん（御厨中3年）が、第40回全国中学生人権作文コンテストにおいて、「法務省人権擁護局長賞」を受賞しました。

この大会は、人権尊重の重要性や必要性について理解を深め、豊かな人権感覚を養うため開催されています。

荒牧さんは、10月に行われた長崎県大会で17,968点の中から最優秀賞を受賞。その後、各都道府県の優秀作品が集まる全国大会へ推薦されました。

荒牧さんは「相手のことを考えて」と題し、過去の体験から「言動」には人を苦しめたり、助けたりする力があることを感じ、何気ない一言や行動を大切にしたいと考えるようになった想いを作文に込めました。



祝 100歳 おめでとうございます



藤田キクエさん

大正10年11月17日生 志佐・岸浜

志佐町で生まれ育ち、物静かな性格。

入所していた「グループホームしさんまち」では、穏やかに過ごされており、時折冗談を言うなどして、スタッフを楽しませてくれました。

※藤田さんは12月3日に永眠されました。
心からお悔やみ申し上げます。

令和3年度 税に関する作文表彰式

「税について考える週間」（11月11日～17日）の一環として、松浦市租税教育推進協議会（友田吉泰会長）などが募集した「税に関する作文」の入賞者表彰式が11月12日、生涯学習センター（きらきら21）で開催されました。

この作文の募集は、次代を担う中学生や高校生が税に関する関心を高め、税について正しい理解を深めてもらうことを目的としています。今回は、市内から高校生の部に145点、中学生の部に150点の応募があり、6点が入賞しました。入賞者は次のとおりです。

【中学生】

松浦市租税教育推進協議会会長賞

小松 玲雄（御厨中学校3年）

長崎県納税貯蓄組合連合会会長賞

橋本 快（志佐中学校3年）

【高校生】

松浦市租税教育推進協議会会長賞

久保頭大地（松浦高校2年）

松浦市租税教育推進協議会優秀賞

渡邊 璃乃（松浦高校2年）

山本 早織（松浦高校2年）

平戸税務署署長賞

中原志津佳（松浦高校2年）



まちの話題

オンラインでこども博

松浦商工会議所青年部（松浦誠会長）は11月14日、オンラインを利用して「2021 松浦こども博」を開催しました。

この日は、事前に申し込んだ約120人の子どもたちが、家庭にあるパソコンやスマートフォンを主催者と繋いで参加。市内で建設業や菓子店を営む部員を講師に、鳥の巣箱を作る木工体験、お菓子の家を作るパティシエ体験の講座が配信されました。また、各家庭のゲーム機をオンラインで繋ぎ、eスポーツ体験も行うなど、新しい形のイベントとなりました。



▲ eスポーツ体験

▲パティシエ体験

小学生がお弁当メニューを考案

今福小学校（加藤洋一校長）は11月13日、同校の学習発表会「かじのは祭」に合わせ、地域の食の魅力を発信したいと、地元で生産されたお菓子やお弁当の引換券などを販売しました。

お弁当は同校5年生が、総合的な学習の時間に地元食材を使ったお弁当メニューを考案。地元のスーパー黒田ストアが、市内の事業所や生産者から提供されたアジフライや青島かまぼこなどを使用し、お弁当を作りました。

この日児童らは、来校者に向けてお弁当の引換券を販売。約20分で売り切れるほど大盛況でした。



▲販売されたお弁当

優良従業員を表彰

第34回勤労者の祭典（松浦市商工業労政推進協議会主催）が11月17日、文化会館で開催されました。

この祭典では、毎年長きにわたり事業所に勤務されている優良な従業員を表彰しています。勤続20年以上の8人、15年以上の2人、10年以上の1人、5年以上の1人、合計12人が表彰を受けました。

受賞者を代表し兵庫屋勝夫さん（九電産業株式会社松浦事業所）が「松浦の人々の温かい支えが、私の成長に繋がった。今後も一層の努力を重ねたい」と謝辞を述べました。



子どもたちが伝統文化を体験

松浦文化協会（黒川廣治会長）は11月16日、調川小学校で移動文化祭を開催しました。

この催しは、子どもたちが日本の伝統文化を実際に体験し、自国の文化や芸能に興味や関心を持ってもらうことを目的として開催されています。

この日は、同会会員が講師となり俳句、華道、三味線、琴、詩吟、日本舞踊を体験する機会が設けられ、同校の児童64人が参加しました。児童らは、講師の指導を受け、楽しみながら伝統文化を体験しました。

